

リハビリテーション部

【教育】	
1. 到達目標	早期から専門分野に特化することなく幅広い分野のリハビリテーション医療を提供するために必要な知識と技術、人間性の向上を目指します。スタッフ教育では急性期のリハビリテーションに必要なリスク管理と評価・治療の考え方、実技を習得するための指導を行います。多種多様な疾患・病態に対応でき、患者様の視点に立った良質なリハビリテーションを提供できる人材育成を目指します。その後、希望するスタッフに対して大学院進学や各種認定資格の取得ができるよう支援することにより、より専門的な知識と技術の習得に努めます。学生の臨床実習については、養成校の指導方針に合わせて目標を定め、その達成に向けた指導を進めていきます。
2. 現状説明	新人教育プログラムを作成してスタッフ教育を行っています。幅広い疾患に対応するためには追加の指導を必要とすることが多く、その都度指導しながら教育を進めています。多くのスタッフが大学院進学や各種認定資格の取得ができています。
3. 点検・評価	新人教育プログラムには項目ごとにチェックをつけられるように作成し、その達成度を評価しています。
4. 目標・改善方策の達成度	新人教育プログラムを修了するまで指導を継続しています。その後に、大学院卒業や各種認定資格を取得したスタッフも多く、意欲的に学習できています。現在も大学院に進学中のスタッフがあり、継続的にスタッフの学習が進んでいます。
【研究】	
1. 到達目標	整形外科的疾患、脳血管障害、中枢神経障害、内部障害のリハビリテーションに関する研究や、心臓リハビリテーション、ロボットリハビリテーション、スポーツ障害などに関する研究を行っております。今後も幅広い分野で研究を進めていきます。
2. 現状説明	限られた時間を有効に使いながら行っています。チーム内での情報共有を大切に、臨床から研究へとスムーズに移行できるように工夫をしながら行っています。研究発表を行う際は予演会等を通してスタッフ教育を行っており、研究の方法や考え方を学べるように努力しています。
3. 点検・評価	研究テーマによっては部外スタッフからも意見をもらうようにし、多角的な視点で考察できるように配慮をしています。
4. 目標・改善方策の達成度	各種学会での発表や論文作成などが行えています。
【診療】	
1. 到達目標	多職種で連携しながら、エビデンスに基づいた幅広い分野のリハビリテーション医療を提供するために必要な知識と技術、人間性の向上を目指します。
2. 現状説明	特定の分野に特化した人員配置を行わず、幅広い疾患に対応できるよう配慮しています。心大血管リハビリテーションなど、専従・専任が必要な分野ではスタッフのローテーション方式を導入して対応しています。
3. 点検・評価	カンファレンスや症例検討会などで診療内容や質を確認しています。スタッフ全員が各種疾患別リハビリテーションに対応できています。がん患者リハビリテーションについては、各種疾患別リハビリテーションの対応が可能となってから研修を受講できるように配慮しています。
4. 目標・改善方策の達成度	年間多くの疾患別リハビリテーションに対応できており、がんのリハビリテーションについては療法士30名中18名が対応できるようになりました。
【社会貢献】	
1. 到達目標	リハビリテーション医療に関わる研修会や災害リハビリテーション研修会を主催し、県内外の医療従事者の研鑽の場を提供するとともに施設間の連携を強化することを目指します。災害時には多施設で連携し支援活動ができるようなネットワークづくりを目指しています。
2. 現状説明	毎年山形リハビリテーション研究会、山形災害リハビリテーション研修会を開催しています。災害時にはJRATと連携してスタッフの派遣を行っています。
3. 点検・評価	上記研究会や研修会に多くの施設から参加してもらっています。
4. 目標・改善方策の達成度	2019年の豪雨におけるJRAT活動など、多施設で共同してリハビリテーション支援を行いました。当院からも多くのスタッフが支援に参加しました。やまがたりリハビリテーション研究会や、やまがたりJRATの事務局も担当しています。

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2020)	刊行状況	研究情報備考
1-1. 論文/原著 (査読有)	柴橋広智, 村川美幸, 高窪祐弥, 高木理彰, 村上正泰	* 急性期病院でリハビリテーションを受けた患者の退院後の経過と実態	病院. 2021年6月;80(6):526-531			
1-1. 論文/原著 (査読有)	柴橋広智, 村川美幸, 佐々木健, 結城一声, 高窪祐弥, 高木理彰	鏡視下腱板修復術後の筋力回復に関連する要因とその予測因子の重回帰分析	山形医学. 2021年8月;39(2):76-83		E Only	
1-1. 論文/原著 (査読有)	辺見大剛, 佐藤寿晃, 村川美幸, 鈴木克彦, 高窪祐弥, 高木里彰	側方での浴槽またぎ動作時の両脚支持時間因子の特徴	山形県作業療法士会誌. 2021;19(1):35-41			
1-1. 論文/原著 (査読有)	Takakubo Y, Miyaji T, Ohta D, Ito J, Oki H, Momma R, Naganuma Y, Honma R, Akabane T, Uno T, Sasaki A, Suran Y, Dairaku K, Goto S, Goto Y, Kanauchi Y, Kobayashi S, Nakajima T, Matsuda M, Masuda K, Mura N, Takenouchi K, Tsuchida H, Onuma Y, Shibuya J, Nagase T, Yamaguchi O, Urayama Y, Furukawa T, Okuda S, Huang H, Noro A, Ogura K, Nakamura T, Sasaki K, Ishi M, Takagi M	Differences in subtrochanteric and diaphyseal atypical femoral fractures in a super-aging prefectural area: YamaCAFe Study.	J Bone Miner Metab. 2021 Jul; 39: 700-711. PMID: 33821304	IF=2.626, Q2		B
1-1. 論文/原著 (査読有)	Takakubo Y, Wanezaki Y, Oki H, Naganuma Y, Shibuya J, Honma R, Suzuki A, Satake H, Takagi M	Forefoot deformities in patients with rheumatoid arthritis: mid-to long-term result of joint-preserving surgery in comparison with resection arthroplasty.	Int J Environ Res Public Health. 2021 Oct; 18(21): 11257. PMID: 34769775	IF=3.390, Q2		B
1-1. 論文/原著 (査読有)	高窪祐弥, 和根崎禎大, 梁秀蘭, 鈴木優太, 本間龍介, 門馬亮介, 佐々木明子, 高木理彰	80歳以上のRA患者に対する生物学的製剤使用状況 - ZA0 registryから -.	関節の外科. 2021; 48(1): 1-5			B
1-1. 論文/原著 (査読有)	高窪祐弥, 和根崎禎大, 梁秀蘭, 鈴木優太, 本間龍介, 門馬亮介, 佐々木明子, 高木理彰	当科の脊椎関節炎および掌趾膿疱症患者に対する生物学的製剤使用状況 - ZA0 registry から -.	関節の外科. 2021; 48(1): 7-10			B
1-2. 論文/総説及び解説 (査読有)	高木理彰, 高窪祐弥, 成田亜矢, 村川美幸	関節リウマチ治療の進歩ーリハビリテーション治療の役割ー.	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 2021年5月; 58(5): 528-535			
1-2. 論文/総説及び解説 (査読有)	高窪祐弥, 村川美幸, 浦山樹, 本間龍介, 成田亜矢, 高木理彰	バイオ時代のリウマチリハビリテーション医療ーリウマチリハビリテーション医療のtreat to target (RT2T) をめざしてー.	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 2021年6月; 58(6): 676-679			
1-2. 論文/総説及び解説 (査読有)	高窪祐弥, 結城一声, 本間龍介, 高木理彰	連載No. 10/関節周囲の疾患(腱鞘炎, 腱付着部炎, 肩関節周囲炎, 関節包炎).	炎症と免疫. 2021年6月; 29(4): 354-358			
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	柴橋広智, 村川美幸, 佐々木健, 菅原正登, 高窪祐弥, 高木理彰	前腕滑膜肉腫の広範切除後に利き手機能を再獲得した1例	山形県作業療法士会誌. 2021;19(1):48-54			
1-3. 論文/症例報告 (査読有)	大森允, 有本貴範, 沓澤大輔, 高窪祐弥, 石川雅樹, 荒川忍, 渡辺昌文, 高木理彰	* 心房細動による重症僧房弁閉鎖不全症に対し外科的介入と継続的心臓リハビリテーションが社会復帰に寄与した一例	東北理学療法学. 2021年8月; (33):82-89			
1-4. 論文/著書	高木理彰	感染性関節炎.	内科学. 第12版. 東京: 朝倉書店, 2022; 425-426			
1-7. 論文/その他	石川雅樹	作成班員(膝関節班)	一般社団法人日本理学療法学会連合理学療法標準化検討委員会ガイドライン部会, 理学療法ガイドライン第2版. 東京: 医学書院, 2021年10月			
1-7. 論文/その他	浦山樹	システマティックレビュー班 (頸部機能障害)	一般社団法人日本理学療法学会連合理学療法標準化検討委員会ガイドライン部会, 理学療法ガイドライン第2版. 東京: 医学書院, 2021年10月			

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2020)	刊行状況	研究情報備考
2-1-iii. 学会報告/国際学会/一般演題 (査読有)	Takakubo Y, Wanezaki Y, Naganuma Y, Yang S, Suzuki Y, Takagi M	No14 Postoperative rehabilitation of the salvage arthrodesis with bone auto-and allografts for failed total ankle arthroplasties.	23rd Asia-Pacific League of Associations for Rheumatology Congress, Kyoto; Aug 2021			
2-1-iii. 学会報告/国際学会/一般演題 (査読有)	Takakubo Y, Narita A, Yuki I, Sagae H, Sasaki K, Kobayashi S, Takagi M	Rehabilitation for atypical femoral fractures in the patients with rheumatic diseases.	The International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, web; June 2021			B
2-1-iii. 学会報告/国際学会/一般演題 (査読有)	Honma R, Takakubo Y, Oki H, Liu X, Huang H, Takagi M	Podoplanin expression in rabbit arthritis model.	23rd Asia-Pacific League of Associations for Rheumatology Congress, Kyoto; Aug 2021			B
2-2-ii. 学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	Takagi M, Kuwana M	Message from post-marketing surveillance subcommittee of Japan colleague of rheumatology (Intenational symposium).	The 65th Annual General Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Hybrid, Koube; Apr 2021			B
2-2-ii. 学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高木理彰	人工関節周囲感染の病態 ーBench to bedside ー.	第94回日本整形外科学会学術総会, 東京(ハイブリッド); 2021年5月			
2-2-ii. 学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高木理彰	関節の腫れと痛み. リハビリテーション科医が知っておきたい基礎知識.	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都(ハイブリッド); 2021年6月			
2-2-ii. 学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥, 佐々木幹, 成田亜矢, 高木理彰	股関節のリハビリテーション.	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都(ハイブリッド); 2021年6月			B
2-2-ii. 学会報告/国内学会/シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥, 梁秀蘭, 高木理彰	滑膜炎の基礎病理.	第36回日本整形外科学会基礎学術集会, 三重; 2021年10月			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	浦山樹, 丸山真博, 原田幹生, 宇野智洋, 村成幸, 佐竹寛史, 岩井章洋, 高木理彰	中学・高校野球選手における自己評価での肩内旋可動域制限 (GIRD) と肘痛との関連	JOSKAS/JOSSM meeting 2021, 札幌 (ハイブリッド開催); 2021年6月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	村田宙, 原田幹生, 丸山真博, 宇野智洋, 村成幸, 佐竹寛史, 高原政利, 岩井章洋, 高木理彰	* 高校野球選手の貧血様症状についての検討-肩肘痛や生活習慣との関連について-	JOSKAS/JOSSM meeting 2021, 札幌 (ハイブリッド開催); 2021年6月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	浦山樹, 高窪祐弥, 鈴木朱美, 成田亜矢, 村川美幸, 石川雅樹, 佐藤美香, 大森允, 今田和希, 高木理彰	* 足部・足関節疾患におけるQuality of Life (QOL) と身体機能の関連性	第5回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会, 名古屋 (ハイブリッド開催); 2021年11月			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	今田和希, 高窪祐弥, 鈴木朱美, 成田亜矢, 村川美幸, 石川雅樹, 佐藤美香, 大森允, 浦山樹, 高木理彰	変形性足関節症患者の歩行能力とQuality of Life(QOL)の関係	第5回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会, 名古屋 (ハイブリッド開催); 2021年11月			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	千葉寛之, 伊藤吏, 新川智佳子, 松井祐興, 欠畑誠治	* 小児例におけるchirp音刺激によるASSRの刺激頻度の違いによる反応閾値への影響	第64回日本聴覚医学会, 東京都; 2021年10月			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	Takakubo Y, Honma R, Suzuki Y, Yang S, Nagase T, Naganuma Y, Oki H, Sasaki A, Takagi M	Localization of toll-like receptors expressing immune-cells and immune-regulatory cells in synovial tissues of the patients with rheumatoid arthritis treated by abatacept.	The 65th Annual General Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Hybrid Kobe; April 2021			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	Takakubo Y, Miyaji T, Ohta D, Tsuchiya M, Okuda S, Ito J, Oki H, Momma R, Suzuki K, Sasaki K, Ishii M, Takagi M	The characteristics of atypical femoral fractures in patients with rheumatic disease in our prefectural area of super-aging society: YamaCafe extended-study.	The 94th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, May 2021			B

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2020)	刊行状況	研究情報備考
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	Takakubo Y, Suzuki A, Igarashi T, Uno T, Nakajima T, Narita A, Takagi M	Payment of medical cost for traumatic injury by skiing in foreign tourists in Zao-Onsen Ski resort.	The 13th Annual Meeting of Japanese Orthopaedic Society of Knee, Arthroscopy and Sports Medicine/The 47th Annual Meeting of Japanese Orthopaedic Society for Sports Medicine, Sapporo; June 2021			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 門馬亮介, 佐々木幹, 大楽勝之, 浦山安広, 小林真司, 石 井政次, 高木理彰	人工股関節置換術時に切除した大腿骨頭を使用 し人工足関節置換術のサルベージ手術を施行し た関節リウマチの1例.	第51回日本人工関節学会, 横浜(ライブ 一部オ ンデマンド); 2021年7月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	高窪祐弥, 川路博之, 伊藤重治, 大楽勝之, 門 馬亮介, 大木弘治, 浦山安広, 佐々木幹, 石井 政次, 高木理彰	再THAにおけるケルブールプレート・KTプレート による臼蓋再建例の成績.	第48回日本股関節学会学術集会, 奈良(ハイブ リッド); 2021年10月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	高窪祐弥, 村川美幸, 浦山樹, 本間龍介, 成田 亜矢, 高木理彰	* バイオ時代のリウマチリハビリテーション医療 ーリウマチリハビリテーション医療のtreat to target (RT2T) をめざしてー.	第48回日本股関節学会学術集会, 奈良(ハイブ リッド); 2021年10月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	成田亜矢, 村川美幸, 石川雅樹, 鈴木優太, 寒 河江拓盛, 高野満夫, 金内ゆみ子, 高窪祐弥, 高木理彰	* リハビリテーション部門でのCOVID-19対策と患 者への介入経験.	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都(ハイブリッド); 2021年6月			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	村川美幸, 高窪祐弥, 成田亜矢, 佐々木健, 柴 橋広智, 高木理彰	* 電動義手を活用し職場復帰ができた前腕切断患 者の治療経験.	第58回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都(ハイブリッド); 2021年6月			B
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読有)	斎藤沙耶, 村川美幸, 佐々木健, 菊池瑞恵, 辺 見大剛, 高窪祐弥, 高木理彰	* 関節リウマチ患者に対する髄膜腫術後のリハビ リテーション～関節リウマチに関する患者教育 を通して～.	第28回山形県作業療法学会, 山形(Web); 2021年 5月			B
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読有)	高窪祐弥, 中島拓, 浅野多聞, 長瀬貴明, 梁秀 蘭, 本間龍介, 豊野修二, 和根崎禎大, 五十嵐 貴宏, 門馬亮介, 伊藤重治, 鈴木優太, 鈴木朱 美, 長沼靖, 佐々木明子, 高木理彰	抗IL-17A抗体製剤が著効した若年性脊椎関節炎 の1例.	第118回東北整形災害外科学会, 秋田(Web); 2021年6月			B
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読有)	成田亜矢, 寒河江拓盛, 本間龍介, 高窪祐弥, 高木理彰	COVID-19 重症患者の栄養管理の検討.	第50回日本リハビリテーション医学会東北地方 会/専門医・認定臨床医生涯教育研修会, 秋田 (Web); 2021年9月			
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読無)	荒川忍, 大森允, 佐々木健, 石川雅樹, 村川美 幸, 高窪祐弥, 田村晴俊, 渡辺昌文, 高木理彰	* 経カテーテル大動脈弁置換術術前運動療法の経 験	日本心臓リハビリテーション学会 第6回東北支 部地方会、山形（オンライン開催）; 2021年12 月5日			
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読無)	大森允, 有本貴範, 沓澤大輔, 高窪祐弥, 村川 美幸, 石川雅樹, 佐々木健, 荒川忍, 渡辺昌文, 高木理彰	* 心房性機能性僧房弁閉鎖不全症に対し手術と心 臓リハビリテーションが著効した一例	日本心臓リハビリテーション学会 第6回東北支 部地方会、山形（オンライン開催）; 2021年12 月5日			